

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 24 日作成)

委員会名	地球環境・構造小委員会	主 査 名：稲田達夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：仙田 満
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	本委員会は建築構造の立場から地球環境への取組みを検討する。設計段階で設定する物理的・社会的寿命の各段階に対して、建築材料、構造部材、架構などの選定がどのような環境負荷を与えるか等の検討を通し、今後の建築構造の在り方を考察する。	
委員構成 (委員名(所属))	稲田達夫(三菱地所設計)、稲田泰夫(大崎総研)、岩田衛(神奈川大)大越俊男(日本設計)、大谷恭弘(神戸大)、加倉井正昭(東京ソイル)、坂本真一(清水建設)、高田毅(東京大学)、田村和夫(清水建設)、田中享二(東京工業大学)、滝口克己(東京工業大学)、橋本康則(大林組)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会開催回数(6回)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>①前年度開催の大会 P D「地球環境建築・構造からの発信」を踏まえ、今後の活動計画について議論を重ねた。</p> <p>②その議論をさらに深めることを目的として、他分野よりゲストを招聘し、意見交換を行った。(2回)</p> <p>③結論として、「建築構造に関わる環境影響の総合的評価法」の立案を、来年度以降の主要テーマとすることで合意を得た。</p>
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>○これまでの活動の反省と、今後のテーマ設定について、十分な議論を行い、結果として将来に向けての明確な方向性を見いだすことができた。</p> <p style="text-align: right;">(自己採点 80 点)</p>
その他評価すべき事項	